

画像処理・ロボティクスインターンシップ^o2

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年02月05日 ~2019年02月15日	日本	ワヤンバ大学	・電子工学科 ・学部3年生	(芝浦工業大学) 学生19名、TA2名、教員1名 (ワヤンバ大学) 学生9名、教員1名	プレーマチャンドラ チン タカ(電子工学科)



図1 PBL実施の全体様子

Wayamba Universityより日本の最先端科学に興味を持つ優秀な学生10名を日本に招聘し、日本と母国スリランカに通じた教員によって、画像処理・ロボティクスをメインに据えた研究室インターンシップを中心としたプログラムを実施した。

今回は、本稿の学生と相手稿の学生2名でグループを組み合わせ、10日間をかけ、ドローンの自動着陸、ロボットアーム円滑な制御、画像から物体認識などといったテーマを各グループに与え、作業を進めさせた。さらに、最終日に各グループの成果を発表してもらいました。



図2 学生間協力様子



図3 学生間交流様子



図4 学生間意見交換様子